

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

皆さまには、日頃から北九州市社会福祉協議会の活動に、あたたかいご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の能登半島地震や羽田空港での衝突事故、そして小倉北区の鳥町食堂街の火災と、波乱の年明けから早一年が経ちました。被災した能登半島へは本会から12名の職員を派遣し、被災者の声によりそいながら支援活動にあたりました。支援活動を通じて、このような緊急時に備えるためにも、普段からのつながりづくりが大切であると改めて実感しました。北九州市から離れた地であっても助け合う相互扶助の心を今後も持ち続けるとともに、被災地の復興を願うばかりです。

本会にとって嬉しいニュースと言え、一般社団法人 日本音楽健康協会が主催する「音健アワード2024」のCommunity部門にて「プチボ体操」が優秀賞シルバーアワードを受賞したことです。「プチボ体操」は、大学や病院と本会が協働して制作した、子どもから大人まで幅広い世代に親んでもらえる体操です。「プチボ体操」をより多くの方々に知ってもらい、今後も地域に暮らす人々による「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の一層の推進に取り組んでまいります。

一方、昨年新しく実施した取組みといえば、多くの小学校で開催した「福祉教育プログラム」です。大学生とともに開発したこのプログラムは、遊びを通じて楽しく福祉を学べるもので、子どもたちも興味をそそられる内容となっています。今後も一つでも多くの学校で実施していく予定です。また、井筒屋で開催された「健活・悠活・終活フェア」では、終活相談ブースの出展およびエンディングノートの書き方講座を実施し、多くの市民の方にご来場いただきました。さらに、北九州市主催の「北九州ゆめみらいワーク2024」ではブースを出展し、本会のPR活動を行いました。福祉に興味をもった500名を超える学生が立ち寄ってくれました。

今年は、北九州市社会福祉協議会創設60周年を迎えます。引き続き本会の存在を積極的にPRしていきたいと思えます。そして、令和7年度は北九州市地域福祉活動計画第六次計画の最終年度にあたるため、計画の振り返りをするとともに、今後を見据えた本会の組織体制を見直すなど、次期計画の策定を進めていきます。



会長 垣迫 裕俊

結びに、本年も皆さまにとりまして幸せな一年となりますよう、心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

市社協だよりは、LINE 公式アカウントにて配信中！
ホームページやInstagram、YouTube もチェック！！

